

日刊 THE NIKKAN 工業 KOGYO SHIMBUN 新聞

5月14日 木曜日

2020年(令和2年)

25 社員の子ども会社で受け入れ
社内学童保育 (三芳合金工業)



新型コロナ 支援策

社員の子どもも受け入れ

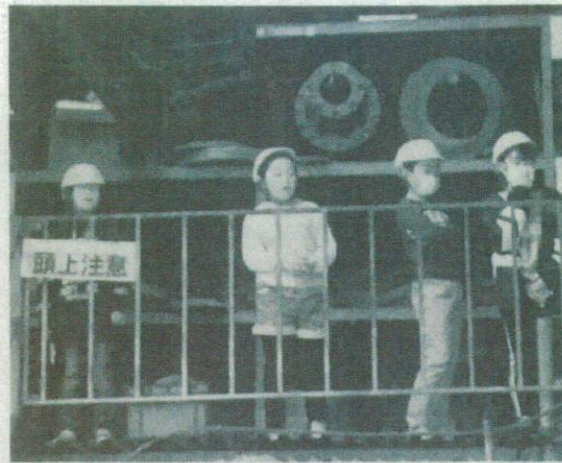
新型コロナウイルス感
染拡大を受け、三芳合金
工業(埼玉県三芳町、萩
野源次郎社長、049・
258・3381)が社
員の子どもを受け入れる
社内学童保育を始めた。
長引く休校で行き場のな
い小学生を中心に、食堂

三芳合金工業

や空き部屋など社員の目
が届く場所で遊ばせた
り、1人の場合は保護者
が自席の側で面倒を見た
りする。緊急避難的な措
置でもあり、萩野社長は
難しさを実感している。
安全性に配慮しながら
ら、多い日は5人が保護
者と一緒に出社。幼稚園
の年中組から中学1年生
まで、延べ41人が利用し
ている。空いていた旧役
員室でゲームをしたり、
食堂で映画を見たり、屋
外で縄跳びやスケートボ
ードをしたり、飽きが来
ないよう工夫。工場見学
会も行い「親たちが真剣
に仕事に取り組む姿を見
せる絶好のチャンス」
(萩野社長)という場
もなったそう。

ただ、集団感染の発生
リスクなどもあり、「内
心、冷や冷やしながら受
け入れている」(同)と吐
露。本来は保育士がいる
社内保育園設置を考えて
いたが、許可可や採用な
どに時間がかかり、「今
回の対策には間に合わな
いと判断した」という。
顧問弁護士に相談し、万
が一の事故に備えた社員
との誓約書を作成。児童
のアレルギーや障がい
の有無などを事前に報告し
てもらっている。(川越)

社内学童保育で支援



工場見学で両親の働きぶ
りを直接見てもらうとい
う試みも